

「騎虎の勢い」が如く

化学力で成長、発展

(隋の文帝)が漢民族の天下に統一するため、反乱軍と戦い長期戦となっていたとき、国元の妻から言伝が届いた。「貴方が大志を抱いて奮闘していることは、ちょうど一日千里を走る虎の背に乗ったようなものです。途中で下りたら虎に

食い殺されます。目的を達するまで頑張ってください」健気な妻の言葉に応えて文帝は本懐を果たす。その故事から「騎虎の勢い下りるを得ず」の名言が生まれた。KHネオケム(株)(取締役社長・浅井恵一氏)は、昨年10月に東証一部に上場した

ニッチトップのファイネケミカルメーカー。旧協和発酵が起点で、2011年に協和発酵キリンから独立して、翌年現社名となった。まさに「騎虎の勢い」の如くその成長軌道は高く目覚ましい。中でも一酸化炭素と水素の混合ガスを用いた合成技術「オキソ反応」は出色で、他にも世界でトップクラスのシェアを誇る製品も複数供給している。協和発酵時代からの真面目でひたむきな社風を受け継ぎながら、21世紀型高感度企業として進化する旺盛なチャレンジ精神が社内に浸透。冷凍機油原料などの機能化学品と、溶剤・可塑性原料などの基礎化学品を主軸として、時代が求める技術の研鑽に余念がない。中国をはじめ、インドネシアやマレーシアなど、アジア市場での活動範囲も広がるばかりで、そのための人材育成にも力を注いでいる。また化粧品・スキンケア原料、電子材料関連など、成長分野での臨戦態勢も万全だ。中央区日本橋本町1・6・5